令和５年度　園経営計画　足立区立第三上沼田保育園

園長 谷川　さゆり

１　園の経営目標

・一人一人の子どもの最善の利益を尊重し、心も体も丈夫で豊かな感性と意欲を育む。
・保育者は子どもを主体に保育を振り返り、学び合い専門性を高める。
・保護者や地域とつながり、共に育ちあい子育て支援の拠点として役割を果たす。

２　園の現状

・子どもは広い園庭で、自然に触れ、夢中になって遊んでいる。思いきり体を動かして遊び、異年齢の子どもが自然に触れ合い、伸び伸びと育ち合っている。
・保育者は子ども一人一人の思いを受け止め、遊びを通して豊かな体験ができる環境を工夫し、日常の中で多様な動きを取り入れた運動遊びを子どもと共に楽しんでいる。
・保護者は園運営や安心、安全な対策に理解があり、協力的である。
・園は子どもの育ちを支えるため、近隣の学校や図書館、地域の保育施設や親子と連携している。

３　今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－１	自ら心と体を動かし運動遊びを楽しむ環境をつくる
具体的な取り組み	
項　　目	具体的な内容
・体を動かすことが楽しい環境を考える。	・３６の体の動きができる遊びを取り入れ、「できた」「もっとやりたい」という思いを重ねていける環境をつくる。 ・職員間で遊びの環境図で可視化して共有していく。
・運動の幅が広がる多様な動きのある遊びを考える。	・「体のバランスをとる」「体を移動する」「用具などを操作する」３つの動きを遊びの中に取り入れる。 ・毎月、運動遊びについて全クラスで話し合い、遊びの面白さや動作の幅を広げていく。

重点的に取り組んでいきたい事項－２	子どもの感性と表現力を育む
具体的な取り組み	
項　　目	具体的な内容
・絵本に触れ、対話を楽しむ。 ・親子が絵本に親しむ習慣を推進する。	・子どもと共に絵本を通して、応答的に関わり、想像したことや様々な感情表現を共感する。 ・絵本を通して親子の触れ合いやつながりが深まるように、絵本の効果・役割を定期的に便りで情報発信していく。
・音楽に親しみ、音遊びを楽しめる環境をつくる。	・様々な楽器に触れ、音色に親しめる場所をつくる。 ・職員による演奏会を実施する。

重点的に取り組んでいきたい事項－３	子ども理解を深め、多様性を認め合い保育の質を高める
具体的な取り組み	
項　　目	具体的な内容
・肯定的に関わり、互いの個性を尊重する。	・個々の育ちに合わせた遊びや生活の環境を工夫し整える。 ・園内研修を実施し、多様性を尊重する保育を学ぶ。
・人権について学びを深め、いのちの安全教育を推進する。	・一人一人が大事な存在であることを保育の中で伝え、自分や相手を大切にする気持ちを育んでいく。 ・発達に応じて子どもの意思を尊重し、プライベートゾーンを大切にすることなど職員間で振り返り共有する。